

取扱説明書

ジャッキ 低床車用 エア 油圧 40ton

品番：#44506000 型式：PS403E

1, 使用方法

●使用前の準備

- ① E010 スイッチアッセンにノブを取り付けてください (図1 参照)。
- ② E017 アクスルのスナップリング×1ヶを取り外し、他端より E017 アクスルを引き抜いてください (図2 参照)。
- ③ E012 ハンドルに組み付けられているエアホース×2本 (透明/黒色) をシャフトへ一巻きし、E007ハウジングの底面側より E014 コネクターに奥まで差し込んで確実に接続してください。接続の際は、エアホースに取り付けられているスプリングを引き出し、エアホースを折れ・曲げから保護してください。接続後にエアホースを軽く引き、E014 コネクターから抜けないことを確認してください (図3 参照)。
- ④ E012 ハンドルのレバーを引き上げ、ハンドルガイドを E007ハウジングの溝に掛けて固定してください (図4 参照)。
- ⑤ ②で取り外した、E017 アクスルを E012 ハンドルのシャフト内を通して元に戻してスナップリングを取り付け、E007ハウジングに E012 ハンドルを固定してください (図5 参照)。
- ⑥ E012 ハンドルの固定角度は3段階で変更することができます (図4、6 参照)。
- ⑦ コンプレッサーの圧力を **981 kPa (10 kg/cm²)** に設定してください。
- ⑧ 本機の E010 スイッチアッセンのカプラプラグとコンプレッサー側のカプラソケットを接続してください (図1 参照)。
尚、本機とコンプレッサーの間に『エアフィルター・レギュレーター(別売)』を取り付けてください。
- ⑨ 週1回は、E010 スイッチアッセンのカプラプラグより潤滑油 (ISOVG32) を3~5cc 注油してください。E004 エアポンプアッセンの故障を防止します。**潤滑油を多量に注入すると故障の原因になるので、注入量を遵守**してください。
- ⑩ 必要に応じて E013 アダプターを EL307-1 トップカバーに挿入してください。

●車輻を上げる時

- ① E012 ハンドルを角度3で固定後、本機を車輻の下に挿入し、車輻メーカーが指定しているジャッキポイントの中心まで、EL307-1 トップカバー (E013 アダプター) を移動させてください (図6 参照)。
- ② E010 スイッチアッセンを上昇 (UP) 側に回すと、EL307ピストンが上昇し、戻すと停止します。車輻を少し上昇させて安定している事を確認して、必要な高さまで上昇させてください (図7 参照)。

●車輻を下げる時

- ① 車輻下部、周囲に何も無い事を確認してください。
- ② E010 スイッチアッセンを下降 (DOWN) 側に回すと、EL307ピストンが下降します。周囲を確認しながら車輻を下降させてください (図7 参照)。

●トラブルシューティング

故障原因	原因	処理方法
ポンプが作動しない	エア配管の破損、ポンプ不良	修理が必要です。当社まで御連絡ください。
ポンプは作動するが上昇しない	ポンプ不良	修理が必要です。当社まで御連絡ください。
	エアの混入	エア抜きをしてください (下記参照)。
ピストンの上昇が途中で止まる	オイルの不足	オイルを適正量まで充填してください。
荷重が掛かると途中で止まる	コンプレッサーの圧力不足	圧力調整をしてください。

●エア抜き方法

- ① 無負荷の状態ですべて最高位まで上昇させ、その後、最低位まで下降させてください。この作業を3回程度繰り返してください。

●給油方法

- ① EL307ピストンを最低位まで下げてください。
- ② EL302-1 ネジを反時計回転方向に回して、取り外してください。
- ③ オイルを全量抜き取ってください。
- ④ 本機を水平な地面に立てた状態で、新しいオイルを1リットル充填してください。オイルは一般油圧作動油 (ISOVG32) を使用してください。
- ⑤ 古いオイルを新しいオイルと混ぜて使用しないでください。
- ⑥ オイル充填完了後、EL302-1 ネジを時計回転方向に回して取り付け、エア抜きを行い、最後に少し荷重を掛けて、作動確認をしてください。

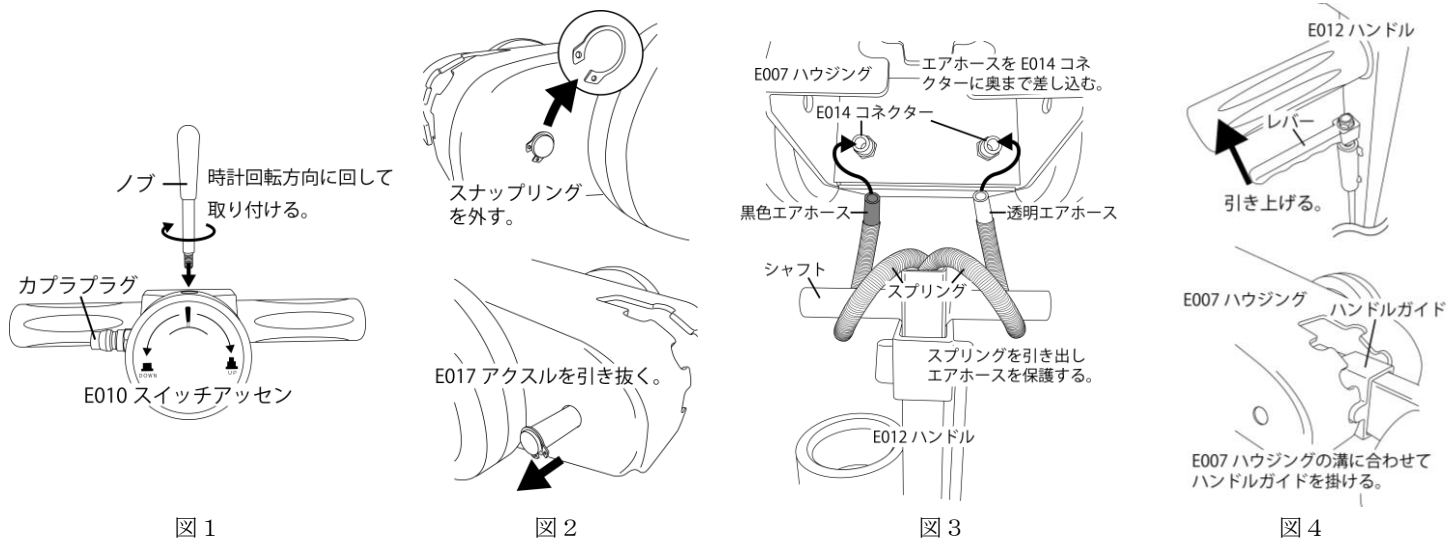


図 1

図 2

図 3

図 4

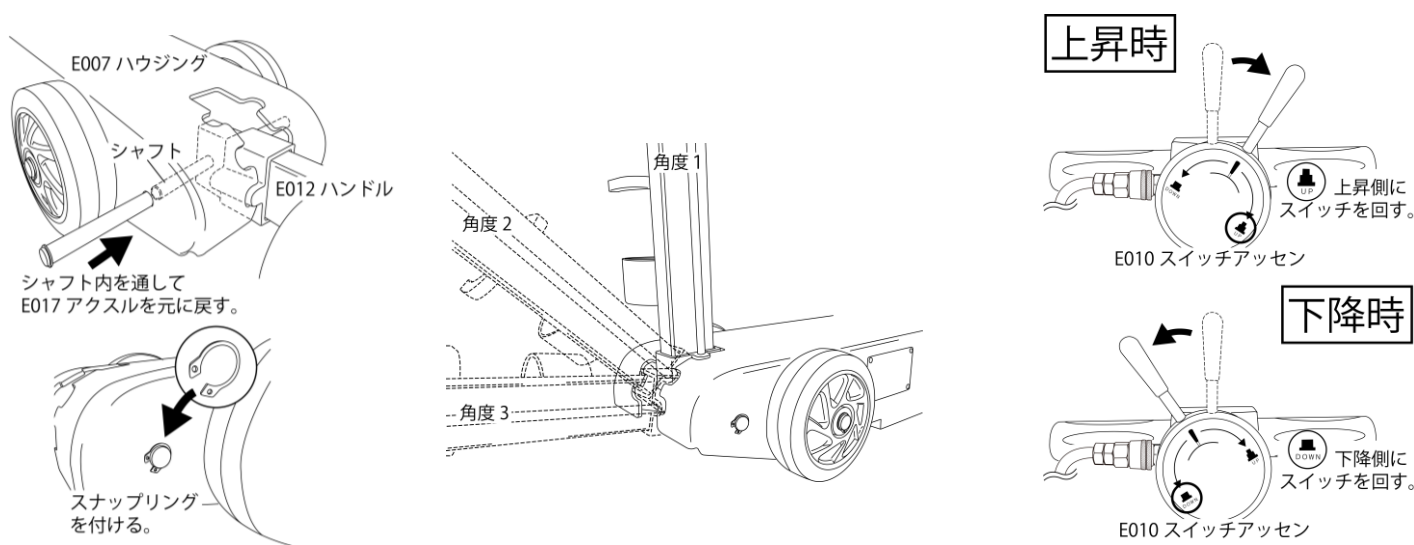


図 5

図 6

図 7

2, 注意事項

△危険 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負うことになるもの。)

- ①ジャッキアップをした状態で、**車輦の下で絶対に作業しない**でください。重大事故に繋がります。
- ②ジャッキアップしたまま保持する場合は、安定性の良い、適切な**保持台(ジャッキスタンド)**を使用してください。

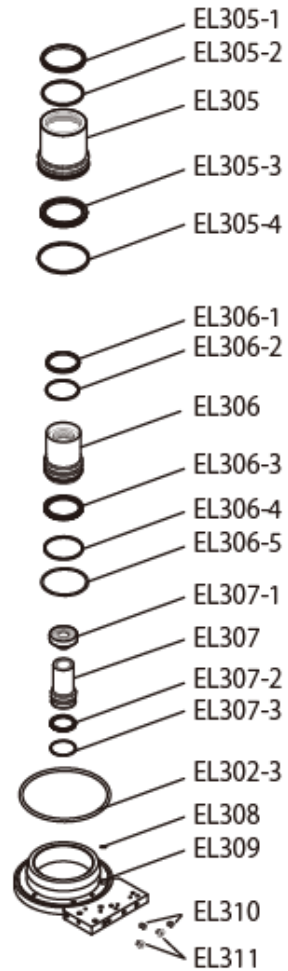
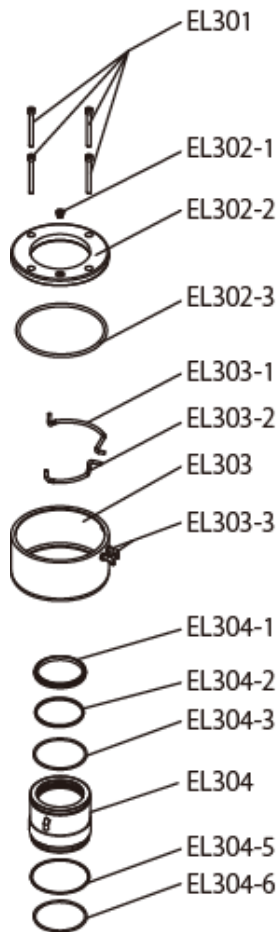
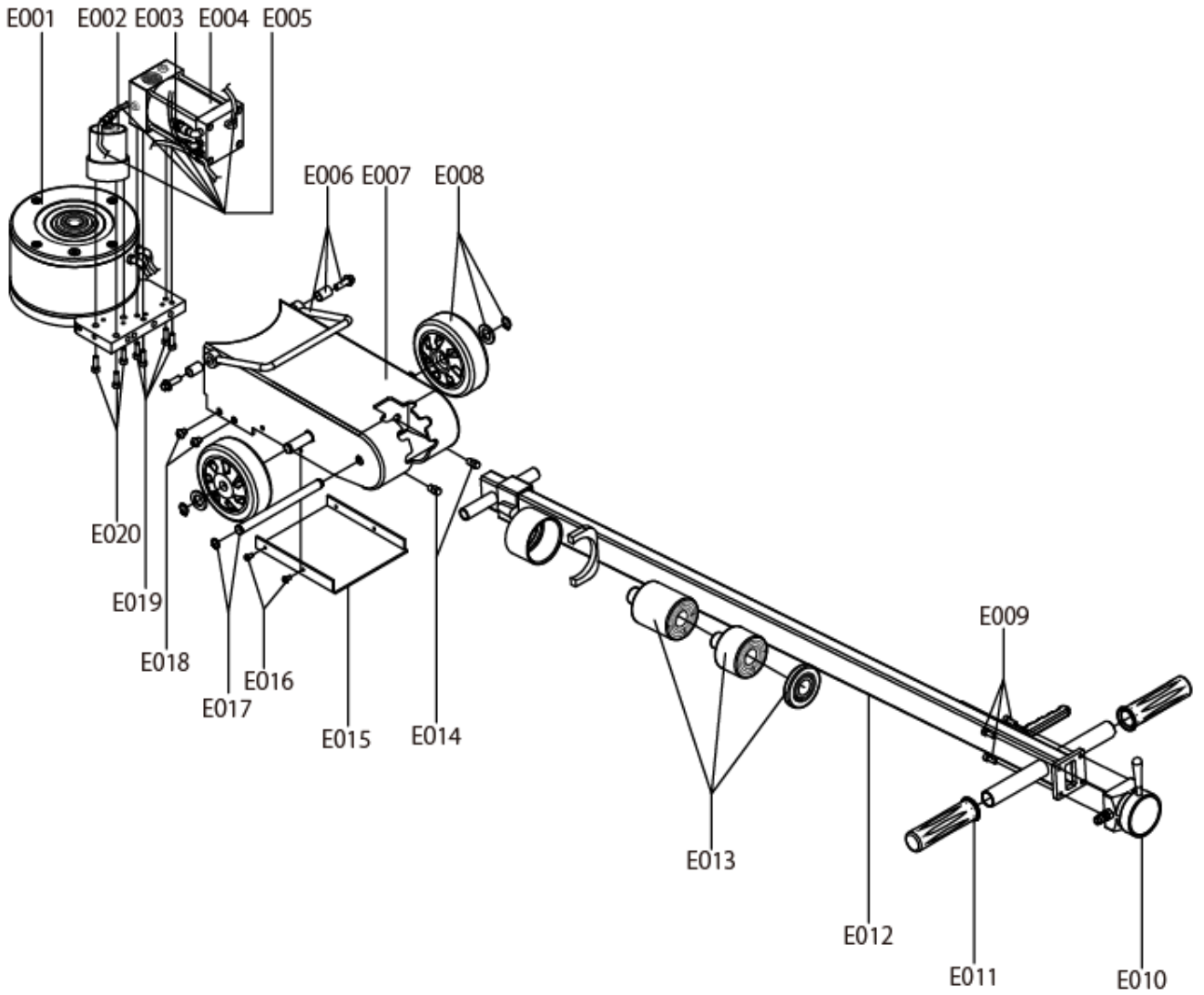
△警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。)

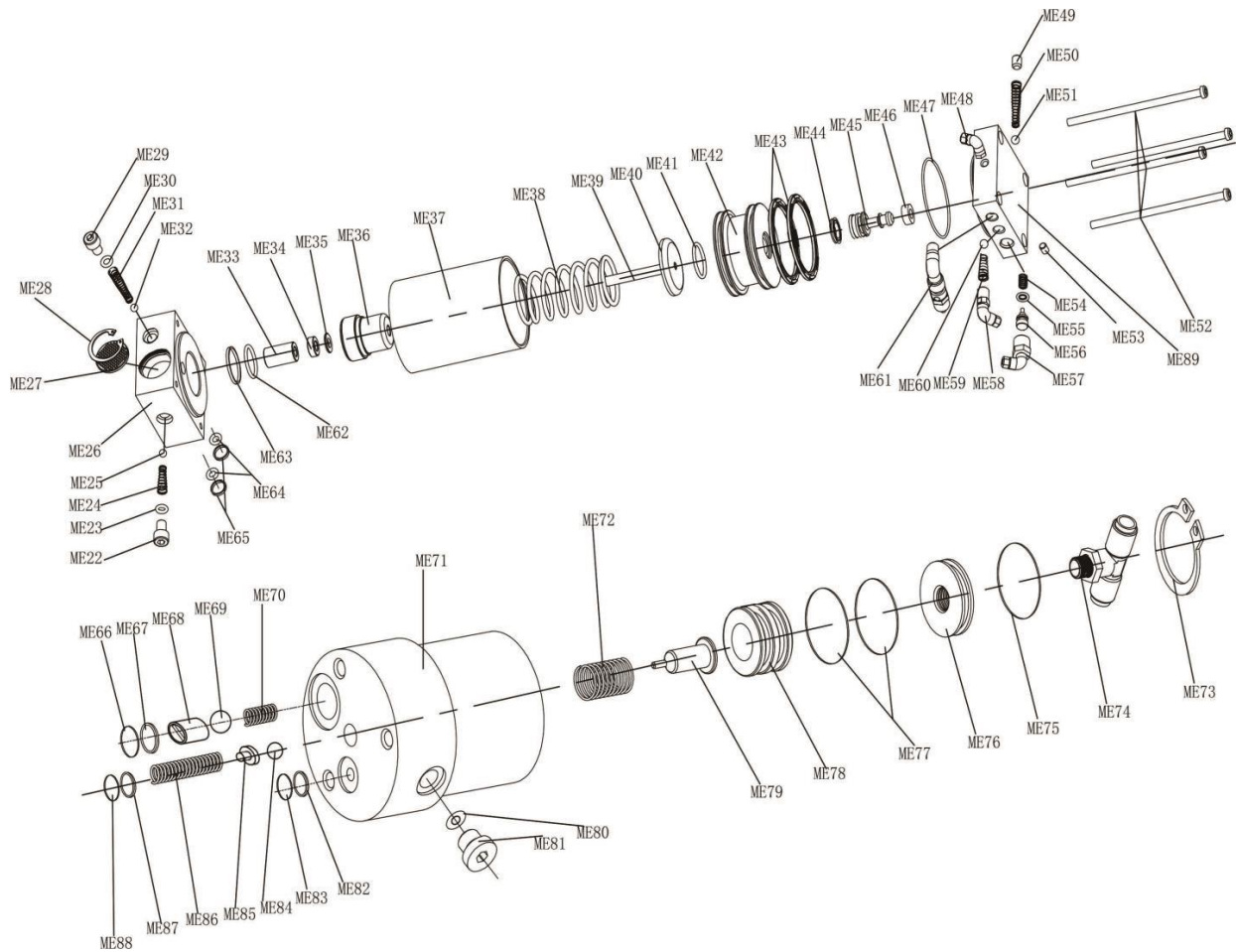
- ①**傾斜面や軟弱地では使用しない**でください。ジャッキが傾き落下する恐れがあります。

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①使用前に、必ずジャッキに異常が無い事を確認してください。破損している場合や、調子が悪い時は、使用しないでください。
- ②本機の分解、修理、改造は絶対にしないでください。本来の能力を発揮できず、重大事故に繋がる恐れがあります。
- ③本機の**許容荷重は1段目40トン 2段目22トン 3段目10トン**です。それ以上の荷重を掛けると、故障の原因になります。
- ④EL307-1 トップカバーの中央に垂直に荷重が掛かるようにセットしてください。傾いた荷重を掛けると、落下する恐れがあります。
- ⑤必要以上に高くジャッキアップしないでください。
- ⑥ジャッキを下げる時は、必ず下に何も無い事を確認し、周囲の安全を確かめてから作業してください。
- ⑦オイルを給油する時は、必ず指定のオイルを使用してください。ブレーキオイルや植物油等は絶対に給油しないでください。
- ⑧EL307-1 トップカバーにオイルが付着していたり、油分、汚れがある場合は必ず拭き取ってから使用してください。落下の原因になります。
- ⑨ジャッキを下げる時は、数回に分けてE010スイッチアッセンを下降(DOWN)側に回し、各部に異常が無い事を確認しながら行ってください。
- ⑩ジャッキアップしたまま、持ち場を離れないでください。
- ⑪オイルを給油する時は、ゴミや異物が入らないように注意してください。
- ⑫本機を使用して上げている車に、力を掛けないでください。EL307-1 トップカバーから滑って、落下する恐れがあります。
- ⑬本機使用後、及び保管する時は、EL307ピストンを最低位まで下げてください。EL307ピストン、EL306インナースリーブ、EL305アウタースリーブ1に傷が付くとオイル漏れの原因になります。
- ⑭使用中は、絶対に本機とコンプレッサーの接続を外さないでください。
- ⑮本機を保管、運搬する際は、絶対に天地を逆にしないでください。故障の原因になります。

3, 部品分解図





部品番号	部品名称	部品番号	部品名称	部品番号	部品名称
E 0 0 1	オイルシリンダーアッセン	E L 3 0 6 - 2	シール	M E 5 1	ラバーボール
E 0 0 2	オイルドレンバルブアッセン	E L 3 0 6 - 3	シール	M E 5 2	ネジ
E 0 0 3	コネクター	E L 3 0 6 - 4	シール	M E 5 3	スクリューナット
E 0 0 4	エアポンプアッセン	E L 3 0 6 - 5	シール	M E 5 4	スプリング
E 0 0 5	エアホース	E L 3 0 7	ピストン	M E 5 5	オリング
E 0 0 6	ハンドルセット	E L 3 0 7 - 1	トップカバー	M E 5 6	ピストン
E 0 0 7	ハウジング	E L 3 0 7 - 2	シール	M E 5 7	エルボ
E 0 0 8	ホイールセット	E L 3 0 7 - 3	シール	M E 5 8	エルボ
E 0 0 9	ネジ	E L 3 0 8	シール	M E 5 9	スプリング
E 0 1 0	スイッチアッセン	E L 3 0 9	ベース	M E 6 0	ラバーボール
E 0 1 1	グリップ	E L 3 1 0	ネジ	M E 6 1	安全弁
E 0 1 2	ハンドル	E L 3 1 1	ネジ	M E 6 2	オリング
E 0 1 3	アダプター	M E 2 2	スクリューナット	M E 6 3	ロックリング
E 0 1 4	コネクター	M E 2 3	オリング	M E 6 4	オリング
E 0 1 5	カバーボード	M E 2 4	スプリング	M E 6 5	ロックリング
E 0 1 6	ネジ	M E 2 5	スチールボール	M E 6 6	オリング
E 0 1 7	アクスル	M E 2 6	チェックバルブ	M E 6 7	ロックリング
E 0 1 8	ネジ	M E 2 7	サイレンサー	M E 6 8	バルクヘッド
E 0 1 9	ネジ	M E 2 8	クランプ	M E 6 9	スチールボール
E 0 2 0	ネジ	M E 2 9	スクリューナット	M E 7 0	スプリング
E L 3 0 1	ネジ	M E 3 0	オリング	M E 7 1	オイルドレンバルブ
E L 3 0 2 - 1	ネジ	M E 3 1	スプリング	M E 7 2	スプリング
E L 3 0 2 - 2	オイルタンクカバー	M E 3 2	スチールボール	M E 7 3	クランプ
E L 3 0 2 - 3	オリング	M E 3 3	ガイドブッシュ	M E 7 4	エルボ
E L 3 0 3	オイルタンク	M E 3 4	スペーサー	M E 7 5	オリング
E L 3 0 3 - 1	ホース	M E 3 5	シール	M E 7 6	エンドカバー
E L 3 0 3 - 2	ホース	M E 3 6	プランジャーブッシュ	M E 7 7	オリング
E L 3 0 3 - 3	コネクター	M E 3 7	エアシリンダー	M E 7 8	オイルドレンピストン
E L 3 0 4	アウタースリーブ 2	M E 3 8	スプリング	M E 7 9	オイルドレンボルト
E L 3 0 4 - 1	シール	M E 3 9	プランジャーロッド	M E 8 0	オリング
E L 3 0 4 - 2	シール	M E 4 0	プランジャーカバー	M E 8 1	スクリューナット
E L 3 0 4 - 3	シール	M E 4 1	オリング	M E 8 2	ロックリング
E L 3 0 4 - 5	シール	M E 4 2	ピストン	M E 8 3	オリング
E L 3 0 4 - 6	シール	M E 4 3	P Kシールリング	M E 8 4	スチールボール
E L 3 0 5	アウタースリーブ 1	M E 4 4	O Eシールリング	M E 8 5	スクリューナット
E L 3 0 5 - 1	シール	M E 4 5	ピストン	M E 8 6	スプリング
E L 3 0 5 - 2	シール	M E 4 6	ラバーキャップ	M E 8 7	ロックリング
E L 3 0 5 - 3	シール	M E 4 7	オリング	M E 8 8	オリング
E L 3 0 5 - 4	シール	M E 4 8	エルボ	M E 8 9	エアインレットベース
E L 3 0 6	インナースリーブ	M E 4 9	スクリューナット		
E L 3 0 6 - 1	シール	M E 5 0	スプリング		